

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和7年度九州管内港湾を利用した国内物流効率化検討業務				
業務概要	業務名称	業 務 内 容			摘 要
		設 計 仕 様	単位	数量	
	令和7年度九州管内港湾を利用した国内物流効率化検討業務				
	計画準備	計画準備	式	1	
		潜在貨物量の把握及びモーダルシフトを行う際の課題整理			
		アンケート調査	式	1	
		事業者ヒアリング調査	式	1	
		船社ヒアリング調査	式	1	
	モーダルシフトに伴う物流効率化及び環境負荷軽減に向けた方策検討				
		トラック輸送から内航海運へのモーダルシフトを行う際の課題及びメリットの整理	式	1	
		物流効率化及び環境負荷軽減に向けた方策検討	式	1	
	成果物				
		業務完成図書作成	式	1	
	協議・報告				
		事前協議	回	1	
		中間報告	回	1	
最終報告		回	1		
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官九州地方整備局副局長 酒井 浩二 福岡県福岡市博多区博多駅東2－10－7				
契約年月日	令和7年7月15日				
契約業者名	令和7年度九州管内港湾を利用した国内物流効率化検討業務 PCKK・WAVE 設計共同体				
契約業者の住所	福岡市博多区博多駅中央街7番21号				
契約金額（税込）	¥21,989,000				
予定価格（税込）	¥21,989,000				
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、物流の「2024年問題」が喫緊の課題であることを踏まえ、九州管内における潜在貨物量の把握を行うとともにトラック輸送から内航海運へのモーダルシフトの課題抽出と整理を行い、物流効率化及び環境負荷軽減に向けた方策を検討するものであり、豊富な経験と高度な知識を要するため、受注業者に対しては、1. 配置予定技術者の経験及び能力（技術者資格、業務執行技術力等）、2. 業務実施方針（業務理解度、業務実施手順等）、3. 特定テーマに対する技術提案（的確性、実現性）等の観点からプロポーザルの提出を求めたものである。</p> <p>建設コンサルタント等の特定手続きに基づく審査の結果、パシフィックコンサルタンツ株式会社・一般財団法人みなと総合研究財団設計共同体が最適であると判断されることから、上記業者と会計法第29条の3第4項に基づき随意契約を行い業務の円滑な遂行を図るものとする。</p>				
業務場所	発注者指定の場所				
業種区分	建設コンサルタント等				
履行期間（自）	令和7年7月15日				
履行期間（至）	令和8年2月27日				
備考					